

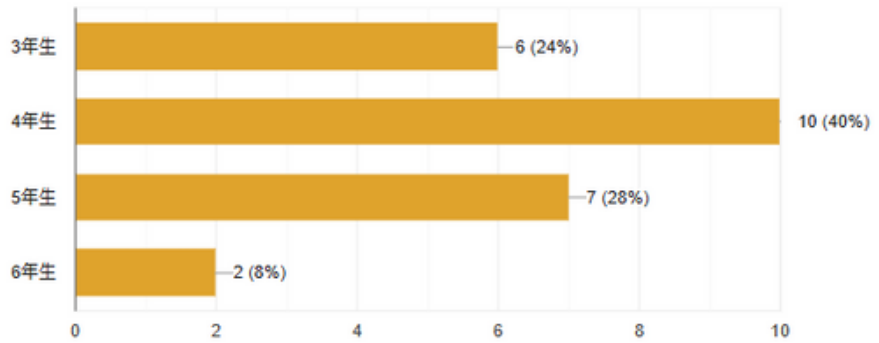
# 2023年度 保護者アンケート結果&回答

2023年10月に実施した保護者アンケートの結果と、ご要望等への回答をお知らせします。

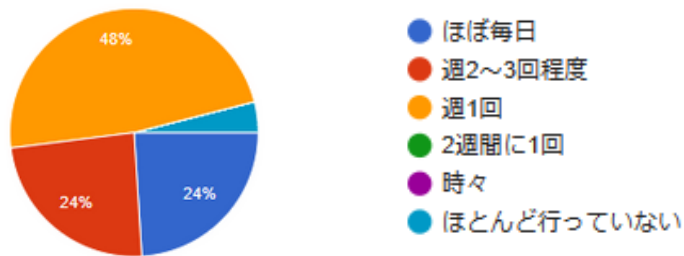
## 回答率

63% (25名/40名) ※アンケート実施時点の人数

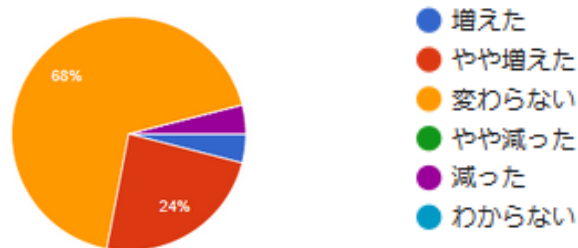
## 学年内訳



## 通塾頻度



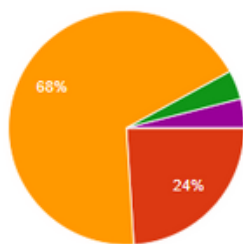
## 家庭学習の時間について



## 家庭学習の時間が 変化した理由

- 机に向かう時間が増えた
- 家庭での学習時間より、ななかまでの学習時間の方が多いため

## 学習意欲

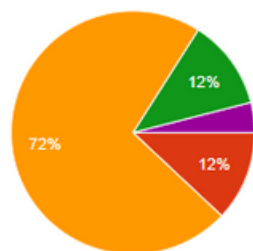


- 高くなった
- やや高くなった
- 変わらない
- やや低くなった
- 低くなった
- わからない

## 学習意欲が 変化した理由

- わからないところを聞いて、わかるようにしている。
- 学校の授業に対する興味の薄れ。
- 自分から宿題をするようになった。
- 数学検定や日本語検定などもあり、学校のテストに加え、目標ができたのではないか。

## 生活リズム

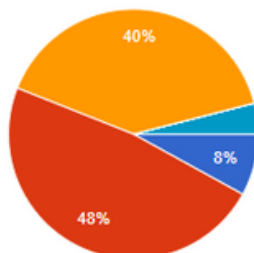


- 改善された
- やや改善された
- 変わらない
- やや悪くなった
- 悪くなった

## 生活リズムが 変化した理由

- 帰宅してからの時間の使い方
- 学校終わりに、宿題をする習慣ができました
- スマホやタブレットを使いこなすようになり、使用頻度が増えた。
- ゲームやタブレットで遊ぶ時間が少し減ったと思います。
- ゲームをする時間が長いのか目や頭が疲れて朝起きれない。夜寝るのが遅くなった。

## 学習の 理解度

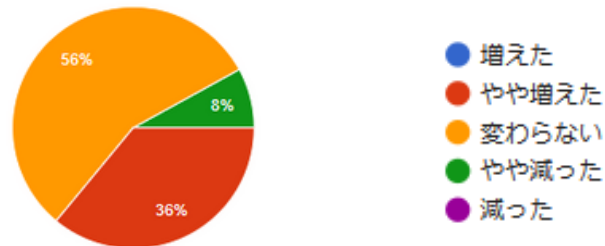


- 以前よりも理解できている
- 以前よりもやや理解できている
- 変化していない
- 以前よりもやや理解できていない
- 以前よりも理解できていない
- わからない

## 学習の 理解度が 変化したと 感じる理由

- 文章問題が苦手だったけど、理解できるようになった。
- テストでは点数が取れている。
- テストの点とあゆみの点数が良くなっている。
- 学校より、ななかまの先生の方が聞きやすく、楽しいようです。

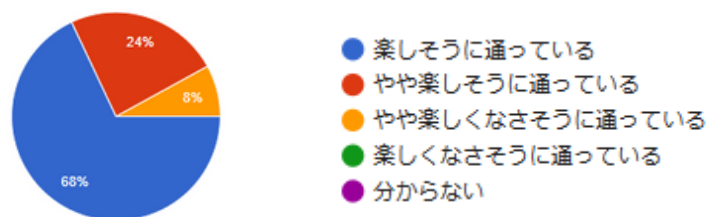
## 家庭での 学習に関する 会話



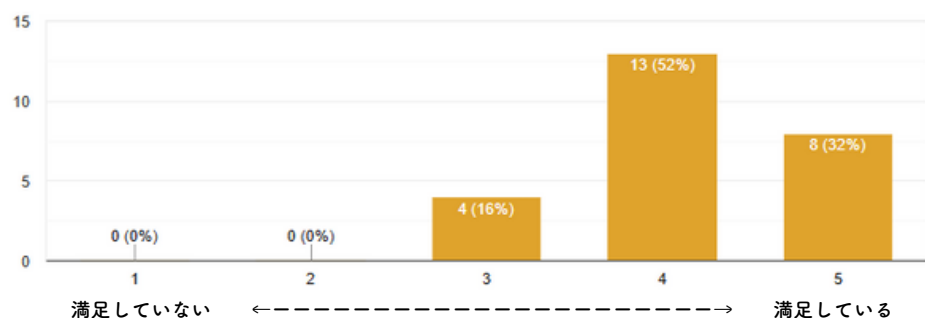
## 学習面で お子さんとの 関わりの中で 難しさを感じ る場面

- 時代が変わり、教え方もちがうので親にわからないところを聞かれても教えられない。
- 教科書やテストの問題文を読むと、自分たちの時とは表現が違うため、まず親が問題を理解するのに苦労する。
- どこまでのことを理解しているのかわからず、教えることの難しさを感じる。
- 宿題・自己学習をしているようだが、確認はしていないので、どの程度理解しているのか。

## 通塾の様子



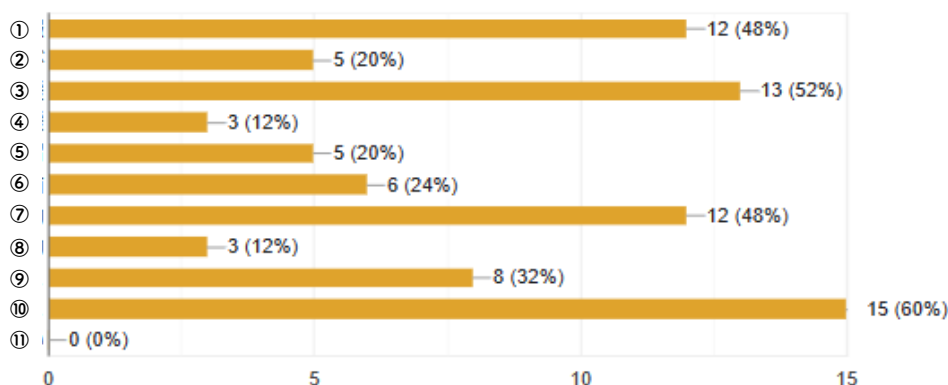
## ななかまへの 満足度



## ななかまが あって 良かったと 感じたこと

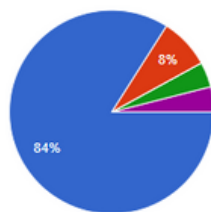
- 放課後の過ごし方が安心できる。  
先生もお友達もいて勉強できて、わからないところも聞ける。
- 子どもがわからないところを親が教えてもいいが、イライラしてしまう場合があるので、それをしたくないので、ななかまで聞いてきておいでと言えることが助かります。
- 学校での勉強以外の体験ができることと、わからないことがあっても少人数なので質問しやすく、面白くわかりやすく教えてくれているので親しみを持っているようです。
- 勉強以外にできる体験イベントも楽しみにしており、良い経験ができています。
- 週一度だが学習する時間が持てているのでありがたい。家庭ではなかなか見てあげることができないので。
- 宿題+αの勉強ができる。
- 友達と楽しそうに学習している。
- 勉強の習慣がついてきた
- 楽しく無理なく通えて、勉強以外も経験できるので大変ありがたく思います。
- 共働きのため、休暇時の通塾があり、非常に助かっています。また勉強だけでなく、いろいろなイベントも考えてくださり子どもも楽しんでいきます。

## ななかまで特に 力を入れて ほしいこと



- |                         |                 |
|-------------------------|-----------------|
| ① 苦手な科目の克服              | ② 得意科目の発展的な学び   |
| ③ 基礎的な学習内容の定着支援         | ④ 学習習慣の定着支援     |
| ⑤ 学校の予習                 | ⑥ 自主学習方法の指南     |
| ⑦ 多種多様な体験型活動            | ⑧ 異学年同士で交流できる活動 |
| ⑨ 主要科目にこだわらない自由な学びのサポート |                 |
| ⑩ 子どもにとって安心・安全な居場所の提供   |                 |
| ⑪ 特になし                  |                 |

## 通塾の 継続について



- 通塾を継続したい
- 今はまだ分からない
- 中断したい
- 卒業するため通塾できない
- 卒業するが、可能であれば通塾させたい

## その他の 意見について

- 学年によって学力のレベルに開きがあり、このままでは中学校に上がった時に授業についていけなくなるのでは、と心配しています。

ななかまでは、小学校や教育委員会と月1回程度の会議の中で、小学校の状況やななかまでの取り組みなどの情報共有を行っております。その中で、それぞれの学年ごとの課題についても共有し、ななかまでの学習に反映しています。

反映した内容として、今年度においては、学校の授業の復習に加えて、多くの子が苦手とする文章題を解くことに重点を置いた「ちょこっと授業」や、AI型学習教材であるキュビナを使った学びなどを定期的に行っております。引き続き、個別最適な学びの実現に向けて、尽力していきますので、保護者のみなさまのご理解とご協力をお願いします。

## 最後に

この度は、アンケートにご協力いただいたき、ありがとうございました。

ご意見を拝見し、日々の関わりが、お子さんの「わかった!」「できた!」に繋がっていることを実感し、大変嬉しく感じています。また保護者の方にとって、ななかまがあってよかったと感じてもらえていることも非常に嬉しく思います。

引き続き、子どもたちが主体的に活動を展開していけるよう、学習環境を整え、多種多様な体験活動を提供していきます。

お子さんがななかまで活動した時間は、立派な家庭学習の時間です。ぜひ、ななかまでの活動についてお話ししたり、認めたりしてあげてください。ご家庭での言葉掛けが、お子さんの背中を強く後押ししてくれると思います。

これからも、ご家庭と一緒に、お子さんの成長をサポートしていきたいと思っています。どうぞ、よろしく願いいたします。

